1. 指定管理者名	公益財団法人 多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	令和2年 4月 1日 ~ 令和3年 3月31日
3. 業務の範囲	(1)精華交流センターの施設及び設備の維持管理に関すること。 (2)精華交流センターの使用許可に関すること。 (3)使用料の徴収に関すること。 (4)公民館事業及び児童館事業の実施に関すること。

4. 採点表

評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点	
1 運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	新型コロナウイルス対応一律4点(令和2年度のみ)	年次報告書P84(利用率) 【利用率(全体)】 32.2% 【利用率(部屋別)】 大ホール:43.8% 研修室:36.3% 会議室:32.8% 和室(東):19.7% 和室(西):23.3% 多目的実習室:22.0% (新型コロナウイルス対応 一律4点)	4点	新型コロナウイルス対応一律4点(令和2年度のみ)	4点
		②利用人数	新型コロナウイルス対応一律4点(令和2年度のみ)	年次報告書P85(利用人数) 【利用人数(全体)】 公民館:28,958人 (R1)45,283人 児童館:8,365人 【利用人数(部屋別)】 大ホール:12,621人 研修室:6,709人 会議室:2,889人 和室(東):1,438人 和室(西):1,638人 多目的実習室:2,737人 遊戯室:926人 (平均値比55.2% =28,958人÷52,463人) (新型コロナウイルス対応 一律4点)	4点	新型コロナウイルス対応一律4点(令和2年度のみ)	4点
	(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	仕様書以上:15~12点、仕様書に忠実:11~9点、仕様書の一部不実施(軽微):8~7点、仕様書の一部不実施(中程度):6~3点、それ以下:2~0点	年次報告書P87~97(文化事業一覧) 【公民館】 ①公民館まつり・精華交流センターまつり(ステージ部門)(展示部門) 3回 406人 ②地域意識醸成事業・地域の祭典 精華校区まちづくり市民会議連携事業6回 610人・ラジオ体操だよ! 全員集合 19回 874人・筋力アップ体操 8回 114人・おはようサロン特別企画&活性化事業「An.Freiコンサート」1回 36人 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止:らくらく筋力アップ体操 4回 【児童館】 1. 乳幼児と保護者を対象とした事業:36回、915人 中止:9回 2. 児童を対象とした事業:51回、362人 中止:22回 3. 地域交流・多世代間交流:29回、1,936人 中止:4回 4. 中高生事業:15回、36人 中止:12回 5. 子育て相談と子育てネットワークづくりの推進:10回、166人 中止:29回	仕様書以上 13点	【公民館】 特にコロナ禍での交流センターまつりの実施については、実行委員会や市との協議を経て、対策を十分に講じた上で開催。展示作品の搬入・搬出は団体ごとで時間を分け、ステージ発表は、事前収録のビデオ出演と当日の生出演に分けることで密集を避ける工夫に努めた。手間と時間をかけることにはなかったが、日頃の成果の発表の場を絶やさず実施したことで事業をつなぐことができた。 【児童館】 コロナ禍においても「乳幼児クラブ」、「小学生クラブ」等の事業のほとんどを仕様書以上に実施できている。交流センターである利点を活かし、広い会場で事業を行う等コロナ対策を十分に講じて事業を行うとともに、地域連携事業にも積極的に取り組んでいる。本土児童館から移転の母親クラブ支援もできている。 【公民館】:13点 【児童館】:13点	13点	
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	内容・事業数等が期待以上:15~12点、内容・事業数等が例年通り:11~9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8~7点、内容・事業数等が例年より劣る:6~3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2~0点 年次報告書P87~97(文化事業一覧) 【公民館】 ・おはようサロン 6回 105人 「自力整体で自然治癒力UP!」15回 222人 ・折り紙サロン 7回 34人 ・プロの料理人に学ぶ包丁の研ぎ方講座 4回 37人 ・冬を彩る寄せ植え教室 1回 22人 ・精華ギャラリー 8回 400人 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止:おはようサロン 4回、自力整体で自然治癒力UP! 5回、折り紙サロン 4回、市民のための健康講座 1回、椅子に座ってイキイキ体操 15回 【児童館】 1. 乳幼児と保護者を対象とした事業:46回、477人 中止:10回 2. 児童を対象とした事業:37回、75人 中止:1回 3. 地域交流・多世代間交流:19回、1,013人 中止:6回 4. 中高生事業:5回、20人 5. 子育て相談と子育てネットワークづくりの推進:1回、10人	期待以上 13点	【公民館】 「自力整体で自然治癒力UP!」は、コロナ禍における健康意識の高まりを受けて実施されたもので、予防介護の入口の年代や夫婦での参加もあり、継続のニーズが高いことから年間を通して実施された。時世に見合った視点で課題を捉えて講座を企画できたことは大きな成果と評価できる。 【児童館】 コロナ禍の中、交流センターである利点を活かし、広い会場で事業を行う等コロナ対策を十分に講じて事業を行うとともに、交流センター事業として活動を展開しており、1年目の児童館として積極的に事業に取り組んでいる。 【公民館】:12点 【児童館】:13点	13点	
(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	年次報告書P98(①清掃) 施設内清掃(基準:毎日)を実施。 適正(普通) 2点	適正(普通) 2点	適正に実施されている。			
	②保守・点検	年次報告書P98(②保守・点検) ・消防設備保守点検(基準:年2回)・・・年2回実施 ・空調機器設備保守点検(基準:年4回)・・・年4回実施 ・エレベーター設備保守点検(基準:年12回)・・・年12回実施 適正(普通) 2点	適正(普通) 2点	適正に実施されている。			
	③保安・警備	年次報告書P98(③保安・警備) ・開館時間の巡回に加え、機械警備を委託して毎日実施。 適正(普通) 2点	適正(普通) 2点	適正に実施されている。			
	④小規模修繕	年次報告書P99(④小規模修繕) ・小規模修繕 15件 総額 844,613円 リニューアルに伴う修繕を実施しました。 ・遊戯室の壁補強と遊戯室・乳幼児室のボード設置 ・多目的実習室の上り口(靴履替場所)のカーペット設置 ・電話機移設(乳幼児室→研修室) ・2階多目的トイレの便座・換気扇取替え ・LED照明交換(玄関・1フロビー・大ホールステージ・スポットライト) ・案内看板用のホワイトボード設置 ・ロビーの案内看板設置 ・大ホール音響設備アンプ・音響設備アンテナ買い換え ①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する(適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 適正(普通) 2点	適正(普通) 2点	適正に実施されている。 ・児童館設置により貸室が減少したが、利用者の利便性をより高めるため、備品の整備や利用方法などを工夫できている。誰もが安心して利用できるようハードとソフトで対応されている。	10点		
	⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)	年次報告書P99(⑤危険箇所の把握) ・開館前と夕方の1日に2回以上、施設周辺(屋根、壁、駐車場、フェンス、植木等)と各部屋(床、壁、机、椅子、備品等)の安全を確認。 ・安全性確保のためのチェックシートを活用し、早期の異常発見をする。 ・雨天時に出入口のタイルが滑るため注意喚起の看板を設置。 ・隣接する上野公園の安全確認(毎日)をし、異常箇所については速やかに市(緑化公園課)へ報告をする。 適正(普通) 2点	適正(普通) 2点	適正に実施されている。 ・隣接する上野公園の安全点検も自主的に実施している。			

2	施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する(期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	・多治見市が導入するファイリングシステム(手引き)を基に文書を管理し定着させている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
			②環境への配慮			・近隣住民からの要望による施設周辺の植木の剪定、草取り、溝掃除を毎月実施。 ・玄関・ロビー・大ホールステージの照明をLED電球と交換し、省エネに努めた。 ・全館清掃によりエアコンのフィルター掃除を年間2回実施し、電気代節約につなげた。 ・仮印刷物には使用済用紙を使い、消毒用布巾は洗濯・除菌して使用するなどごみの減量化に努めた。	適正(普通) 2点	・利用者の声を取り入れるだけでなく、実際の利用を観察する職員からの提案も積極的に取り入れ、環境に配慮した運営を行った。 ・LED交換(玄関・ロビー・大ホール)により、夜間の玄関や受付カウンターがとて明るくなり、案内等が見やすくなった。	
			③バリアフリー			・正面玄関に車いすを配置し、いつでも安心して利用できるように定期点検を実施した。 ・多目的駐車場やスロープ前での車の乗り降りに介助が必要な場合は、職員が対応し安全に入退館していただいた。 ・スロープ前での乗降後、運転手が駐車場へ車を停めに行く間なども介助者の補助として職員が支援を行った。 ・各部屋前の靴の履き替え時に必要な高さの椅子を設置し、安全に靴の履き替えをしていただいた。 ・和室に座卓用椅子を設置し、正座等が難しい方にも利用しやすくした。	適正(普通) 2点	・軽度の認知症や障がいのある利用者を把握し、職員が情報を共有できるよう「利用者対応一覧表」を作成しており、適切で気持ちの良い対応につなげられていた。 ・高齢や身体の不自由な利用者へのサポートが心掛けられており、その結果バリアフリーの視点の積極的な取り組みにつなげられていた。	
			④備品管理			・消毒セットの貸し出し、次亜塩素酸水(除菌電解水)の給水器を導入して備品(玩具や遊具を含む)の消毒や清掃に利用するなど、新型コロナウイルス感染症に対する不安を軽減する取組みを強化した。 ・「備品収納案内」を各部屋の備品に貼るとともに、「備品配置図」を作成し掲示したことで利便性を高めた。 ・多目的実習室の調理道具入れや食器棚に「写真入り収納ラベル」を取り付け、「備品管理簿」を作成し明確に管理した。 ・サークルの備品は、写真つきの「預かり備品台帳」を作成し、管理した。	適正(普通) 2点	・利用者目線に立った「使いやすさ」を重視し、図や写真を多用して誰もが備品の使い方や場所が分かるように努めている。 ・図書ボランティアによる毎月の点検、修理等が行われている。管理運営において地域の方との連携の強さがうかがえる。	
			⑤個人情報保護			・個人情報に記載された資料とデータは、鍵のかかるキャビネットで保管。 ・講座申込時にメディアの撮影・取材の可否を確認。 ・不特定多数が共有する図書カードは、氏名ではなく番号のみ記載している。 ・児童館入退館受付簿は、先に記入した個人情報が見えないようにバインダーを工夫している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑥事故等への対応			0	・全ての事故に対して、適切かつ迅速な初動対応を行い、多治見市への速やかな一次報告、再発防止策を含む詳細の報告を行った。 ・加入保険を適用したケガが1件あったが、適切に対応した。(小学3年生女児が一輪車で転倒し足の親指を骨折…完治) ・女子トイレ盗撮行為の被害があったが、速やかに警察に通報し適切に対応した。 ・駐車場内で利用者同士の事故が1件あったが、同日中に当事者間で話し合い、示談となる。	事故なし・対応に不備なし 0点	
3	当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満~100%:4点、100%未満:3点	収入30,322,529円÷支出32,453,075円=93.4%	100%未満 3点		3点	
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10~8点、適正(普通):7~5点、不備あり:4~1点	・4月5月の休館とリニューアルオープンが重なり、精華交流センターとしての新たな賑わい、地域コミュニティとしての居場所づくりを積極的に進められない状況でのリスタートとなった。そのため5月後半の開館後は、職員各々が前向きに笑顔を保つことのないよう努めるとともに、新しい生活様式に則った利用方法や活動内容、制限のある中での最大限の「利用しやすさ」について、全職員で考えを出し合い実施した。 ・年間の児童館利用者8,365人のうち、85%が乳幼児と保護者、14%が小学生、1%が中学生となりました。利用停止や人数制限(遊戯室は15名まで)を実施した上での利用状況であり、前年度の本土児童館利用者数が8,801人、うち小学生に占める割合が36%であったことから、コロナが収束に向かうにつれて小学生を中心に利用者数の上昇が期待できる。 ・より多くの乳幼児にとって魅力的な遊び場、保護者にとってはお気に入りの居場所(児童館)になるよう取り組み、利用促進を図ることができた。中学生は、図書館の利用が多くあった。	期待以上 9点	・精華公民館に児童館が統合する前から、公民館利用者や本土児童館の関係者等からの丁寧なニーズ把握に努めたため、交流センターへのスムーズな移行を進めることができた。 ・交流センターへのリニューアルに伴う利便性の高い整備や、機能統合に際して継続の声が高い本土児童館の事業を実施するなど、「利用者の声を大切にした運営」に留意した。 ・コロナ禍で中止を余儀なくされたイベントもあったが、利用者・地域・職員の声を聞き一体となり、最大限の安心対策を講じながら、幅広い交流センター事業が実施された。 ・本土児童館の一輪車クラブを継承し、スポーツを通して異年齢で活動する交流機会を提供できた。 ・利用者の要望により、人気の高い講座「プロの料理人に学ぶ包丁の研ぎ方」の追加講座が3回実施され、柔軟な対応によって多くの市民が参加できるように取り組まれた。	9点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3~1点 ※苦情なしは5点とする	・新型コロナウイルス感染症拡大防止による急な休館等に不安を感じられる方への問い合わせに即時対応するためにホームページを有効に活用した。 ・貸室での音が出る活動時は近隣の方への配慮のため窓を開けることが難しいため、利用団体と相談しながら冷暖房(強制換気システム有)・換気扇を利用することを推奨した。 ・職員の子どもへの声掛けの仕方について保護者よりご意見をいただいたが、その場で丁寧に傾聴し、職員間で協議・相談・共有し現場対応に活かした。	苦情なし・期待以上 5点	・苦情に対し、丁寧な初期対応と迅速かつ適切な対応をした。 ・特に貸室の音楽活動と換気の窓開け、近隣へ漏れる音響の配慮など、利用者や近隣への対応に努めた。	5点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1~3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15~12点、適正(普通):11~9点、普通未満~物足りない:8~0点	前年度から円滑な移行に向けた丁寧な準備や調整を行った。多治見市と市民の間に立ち、精華交流センターに関わる方々と情報交換や話し合いの機会を重ねるなど、移行に伴う課題を想定し一つひとつクリアにして今年度に臨んだ結果、円滑なリスタートを実現することができた。 ・公民館利用者への積極的な情報交換と理解 ・精華校区青少年まちづくり市民会議との協働イベントの早期プランニング ・根本交流センターとの立ち上げ準備 ・文化会館、学習館による改修工事のサポート ほか	期待以上 13点	・全てにおいて適切な感染拡大防止対策を講じ、またコロナ禍であるからこそ求められるニーズの高い取り組みが実施された。 ・ホームページを一新し、積極的に情報提供が行われたことと合わせて、コロナ禍での臨時休館、イベント中止、利用制限などの情報収集に、子育て世代だけでなく高齢者を含めた多くの市民がスマホを使っていることが明らかになり、最も身近な情報ツールとなった。 ・特に乳幼児と保護者が大幅に増加しており、コロナが収束に向かうにつれて小学生の利用者数の増加が期待できる。 ・今後も地域と協働しながら、根本交流センター共々新しいスタイルの地域拠点としての取り組みが求められる。 【精華児童館】 開設1年目の出だしてコロナ禍により休館となる中、交流センターの中の児童館として、関係団体との連携連携事業を積極的に行う等地域との交流を進めている。 本土児童館からの「母親クラブ」移行もスムーズにできている。	13点	
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1~△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	不備なし。	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている。	0点	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1~△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	なし	0点	
合計			100	【4段階評価】 極めて良好 100~85点 良好 84~65点 努力が必要 64~45点 取消し等を検討 44点以下			全体的な評価 ・センターまつりでの準備時の時間調整やビデオ出演と生出演の振り分けなど感染対策を考慮して取組まれた。 ・交流センターとして機能統合した児童館の運営も大きなトラブルなく展開することができた。 ・利用者の要望や苦情に真摯な姿勢で対応するとともに、近隣住民への対応にも懸命に取り組む、円滑な施設の利用調整に努めた。 ・施設の管理運営については、全体的に良好に行われている。	合計84点 良好	